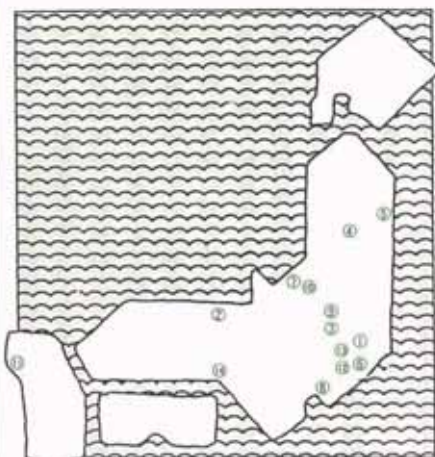


第2期まちづくり助成金交付事業決定!

平成6年度第2期の助成金交付事業にご応募ありがとうございました。
財団選考委員会で厳正に審査の結果次の14件に決定いたしました。

1. 第4回モザイク世界大会実行委員会 (茨城県取手市)
第4回モザイクシンポジウム・国際モザイク展
2. オフィス21 (鳥取県岩見町)
澤田メモリアル
3. 時をつむぐ会 (群馬県高崎市)
絵本原画展「ワンダ・ガック、パージニア・リー・バートン、マリー・ホール・エッツの世界」
4. 山形まるかじりフェスティバル実行委員会 (山形県山形市)
山形まるかじりフェスティバル
5. まちづくり協議会気仙沼21 (宮城県気仙沼市)
海浜紙による地域資源活用普及事業
6. 日本ネットワークーズ会議 (東京都港区)
「市民活動及び民間非営利活動関係法制度に関する国際会議」へ参加プロジェクト
7. 石瀬の字誌をつくる会 (新潟県岩室村)
石瀬の字誌をつくる事業
8. 岡田街並保存会 (愛知県知多市)
岡田街並保存運動「明治時代からの郵便局舎を再生させる事業」
9. 高崎駅前通商店街振興組合 (群馬県高崎市)
街かど美術館第4展覧室
10. 「せせらぎ、ざわめき、風の道」フェスティバル実行委員会 (長野県中条村)
長野冬期オリンピック関連道路(白馬ルート)安寝-中条-夏和区間「せせらぎ、ざわめき、風の道」フェスティバル
11. 長崎街道ネットワークの会 (長崎県長崎市)
長崎街道シンポジウム
12. 世界一の想いをこめたクリスマス実行委員会 (東京都八王子市)
21世紀の扉を開けるためのオープニング・イベント
13. 関東都代 伊奈サミットの会 (埼玉県川口市)
利根川・荒川流路大改造開始400年記念「関東都代伊奈サミット」一忘れられた一族 伊奈氏一
14. HIMEJI市民会議設立準備会 (兵庫県姫路市)
市民会議記念イベント「タウンウォッチングゲーム」



まち towns!

Listen to the towns!

聞こえませんか、まちの声が。



NO.4

発行者 財団法人まちづくり市民財団
阿部芳三

〒102 東京都千代田区平河町2-14-3
日本青年会議所会館内

TEL.03-3234-2607 FAX.03-3234-5770

国際モザイク展は、9月15日より23日まで鎌倉芸術館ギャラリーで開催された。出品作品は海外17ヶ国から41点、国内から69点、そして関連企業5社による資料展示があった。このような大規模な展覧会は世界的にも前例がなく新聞各社、建築専門誌、テレビ等でも大きく取り上げられた。展示内容は三部で構成された。第一部モザイクの歴史では、ギリシア・ローマ、ビザンチン、中世各時代の原寸大のコピー作品がイタリア・ラヴェンナ国立モザイク専門学校より借入

であったからである。去る9月15日より23日まで(勤まちづくり市民財団の協賛をいただき、第4回国際モザイクシンポジウム・国際モザイク展が開催された。西欧では古代より住空間や都市環境の中でモザイクは大きな役割りを果たしてきた。世界中のモザイク作家とその関係者が構成される国際現代モザイク作家協会が主催する国際モザイク展と「現代の建築とモザイク」をテーマに鎌倉市で開催された今回のシンポジウムは、日本において初めてのものであり、とくにモザイク芸術の認識が不足する我が国においては画期的なことであった。それは、歴史的都市でありながら現代の活力ある町づくりと国際性という点に近年力をそそいでいる鎌倉市は、歴史と現代というモザイクがかかえる問題点を論議する上でもっともふさわしい都市であったからである。

ががんばっています まちづくり。
鎌倉モザイク
第4回モザイク世界大会実行委員会
事務局長 工藤晴也



れ展示され、その時代的特色をパネルにより解説した。第二部は現代モザイク展。現代活躍するモザイク作家による作品展で、平面、立体作品の他、証明等を使ったユニークな作品も目をひいた。第三部は資料コーナー。モザイクの制作法をパネルにより解説し、制作に使用する道具や材料も展示した。実際に建物に施工した例も写真パネルにより展示。この展覧会は広く一般市民にモザイク芸術を知ってもらおうことを目的とした企画であった。9日間の開催で延べ5000人の入場者があり、大盛況であった。第4回国際モザイクシンポジウムは同じく鎌倉芸術館小ホールで開催された。期日は9月19日、20、22、23日の4日間。今回のテーマは前述した通り「現代の建築とモザイク」であり、このテーマに沿った海外17カ

国26作家や研究者から発表があった。日本からは作家を代表し東京芸術大学教授麻生秀穂氏、建築家を代表して京都大学教授内井昭蔵氏が発表した。入場者数は延べ400人。9月21日には鎌倉市民の有志による国際交流鎌倉市民の会主催により鎌倉散策、生花、茶道の実演、夜の歓迎レセプションがあり海外作家と市民の国際交流に役買っていた。このように充実した内容で成功できたことは一重にこの企画に御理解していただいた

た働まちづくり市民財団のお陰であります。とりわけまちづくりとモザイク芸術の発表を御理解いただいたことは、今後都市環境と文化を考えていく上で大変貴重な礎を築いたことは間違いないと感謝の意を表し厚く御礼申し上げます。最後に歴史と文化の町鎌倉を全世界にアピールし、国際都市として面目躍如たるものがあつたことをここに付け加え、今回の報告と致します。

英国ミツション特集

英国トラスト視察報告

小畑和成(大阪)

本年6月22、29日、昨年にひきつづき当財団の研究テーマであるところの「英国におけるまちづくり市民運動」についてその研究の一環として英国へ視察ミッションを派遣しました。上田徹専務理事

を団長として、財団の理事や会員、JCMメンバーが入り混じった総勢11名でのミッションとなりました。また、田村明法政大学教授(当財団理事)にもご同行頂き、訪問先を始め道中いろいろと英国におけるまちづくりについてアドバイスを頂きました。ミッションはシビック・トラスト、グラウンド・ワーク、ナショナル・トラストにおいて講演を聞き、現場を見学し、意見を交換しあつての有意義な8日間となりました。

以下に視察の概要を簡単に書かせて頂きます。

6月22日(水)

JL401便にて成田を出発、ロンドンへ

初日は時間もなく、夜のロンドンを散策しました。

6月23日(木)

午前中は、ホテル・ストランドにおいて、シビック・トラスト常任理事のロイ・トラストラム氏とシビック・トラストコンサルタントのアーサー・パール博士からスライドを使ってのレクチャーを受けました。テーマは「シビック・トラストの活動と運営について」。「各地域とのネットワークとサポートについて」

午後は、列車にてロンドンからマンチェスターへ移動。そしてマンチェスター郊外の小さな町オールダムへ車で移動。

6月24日(金)

ロッチデール・オールダム&チームサイド・グラウンド・ワーク・トラストのプロジェクト・マネージャーのジェフリー・グアテン氏の案内により市内

「日本型シビック・トラストを求めて」

まちづくり市民財団ブース

サマーコンファレンス



7月24日東京・青山の国連大学において、当財団によりまちづくり公開会議が行われました。「日本型シビック・トラストを求めて」というテーマで財団のまちづくり市民活動に対する役割と方向性を討議する会議で、この会議を踏まえて財団のビジョン・組織・運営を再構築するという目的です。各界の専門家や実践家の方々に円卓を囲んで頂き、活発な意見交換をしました。

まず、「市民の公益活動(まちづくり)支援に向けての当財団事業展開の在り方について」そして「当財団が英国でのシビック・トラストの機能をもちうるか」また「当財団に望むこと」というテーマで各氏よりご発言いただき将来へ投資する財団であれ、小さくてもパワーのある財団をめざし、毎年のテーマを決めて事業を推進することが重要である等多くの貴重な意見をいただきました。

又、7月23、24日の両日にわたり、サマーコンファレンスが東京の青山学院大学で他日本青年会議所の事業として開催されました。当財団も「まちの応援見本市」会場にブースを設け参加しました。

まちづくり公開会議出席者 (敬称略)

- 宮子 (松森女子短期大学教授)
- 久住 剛 (神奈川県都市部)
- 酒井 憲一 (AMENITY MEETING ROOM 主宰)
- 鈴木 光尚 (日本青年奉仕協会評議員)
- 清田 守 (徳島地域活性化センター企画部長)
- 田村 明 (法政大学教授)
- 西村 英俊 (『AERA』発行室長)
- 西村 幸夫 (東京大学助教授)
- 播磨 靖夫 (日本ネットワークワークス会議代表)
- 村岡 武司 (前館元町俱樂部主宰)
- 山下 茂 (自治省大臣官房文書課長)
- 渡辺 元 (トヨタ財団プログラム・オフィサー)

を視察しました。荒地をコミュニティの自然公園に、企業環境の改善、子供の遊び場改善等の現場を見学し、自然をできるだけ活かしながら、市民のための憩いの場所を作り、子供たちのための教育現場にいく方法に英国人のセンスを感じました。ただ、日本の場合土地の価格があまりに高いので、そのあたりをどうするかという問題は残ると思います。

6月25日(出)

バスでオールドハムからシェフィールドへ移動。到着後、シェフィールド大学にて講義を受けました。

●ヒューリー教授 岩倉使節団とシェフィールド市

●ハンプトン教授 地方自治と選挙

●マーシャル都市地域計画学科長

英国における環境計画と保護

●バウンズ氏(シェフィールド市都市計画課) 市の都市開発と環境計



ゴミが捨てられていた荒地を改善し、釣りができるまでになった。

画「ユニタリ・プラン」について
●バイヤース氏(シェフィールド市都市計画課) シェフィールドの市民そのまちなりづくり対策

この後、ウェストン公園とパークウッド・スプリング地域を訪ね、市の事業の説明を受けました。

6月26日(回)

大都市近郊にあり、世界で2番目に人出の多い国立公園である(1番は富士山)ピークティスリクト国立公園へ行き、ナショナルパークセンターにおいて自然保護対策についての説明を受けた後、周辺を視察しました。その後デボンシャー公爵邸を訪れました。

6月27日(回)

2班に分かれ、1班はヨークにおいてファンテン・アビーを見学し、もう1班はロンドンにもどりシビック・トラスト、ナショナル・トラストの本部を訪ねました。

6月28日(回)

ロンドンから列車で40分の距離にあるニュータウン、ミルトン・キーンズを訪ねました。駅を下りてまるで米国のようなニュータウンに驚きながら、この地のローカル・アメニティ・ソサエティー(シビック・トラスト)を訪ねし現場を見学させていただきました。

以上、大忙しの1週間でしたが、10年も前から市民主導型のまちなりづくりが行われていたことを直接目で見て、これからの日本のまちなりづくりの在り方について考えさせられるものがありました。

もっと詳しくお知りになりたい方は、近々に報告書が出来上がりますので財団事務局までお問い合わせ下さい。

財団への思い

市民財団特別委員会

委員長 田所嘉徳

働まちなりづくり市民財団の運営をお手伝いをする役割を得まして、何とか1年間が過ぎようとしています。最初は、理事長の名前から組織運営等何もわからず戸惑いましたが、多くの皆様のご指導、ご協力をいただいで大変充実した1年でした。

そして、実際に財団の内容を知るにつけて感じる事は、この財団自身がまだ生まれて4年目で組織や知名度、財政的基礎等まだまだ1人前ではなく、これから成長していかなくてはならないと思いました。しかし、その反面この財団のように市民主導型の小さなまちなりづくり運動を支援し、育てていこうという団体は他にあまり類例が無く、全国各地にあるこれからは自分たちの地域をより良くする為に活動しようとする小さな芽を育てるのには非常に重要な役割を果たす、大きな可能性を秘めた財団であると感じました。

そして、自分たちの財団が組織や財政的基礎がまだまだ発展途上であるということから、他のまちなりづくりの団体の苦勞も十分理解できる訳です。この点からも、各地のまちなりづくり団体と共に成長し充実しなければならぬと思います。

この財団の特徴の一つに、研究事業としてこれからのまちなりづくりの在り方を考えようということがあり、これは日本のまちなりづくり運動だけではなく、広く海外にも目を向けて研究を行っております。

そこで、特に実績を誇っているイギリスのトラスト運動に着目し、研究を深めています。

今年8月には、実際にイギリスを訪問してきました。ロンドンのシビックトラスト本部を訪ね、事業内容や組織運営についてレクチャーを受けました。先ず地域を決め、そこに例えば老朽化した建物があれば修復のプランを練り、市民や企業、行政に資金を募り、ねばり強く継続して街並みを整備し、美しい景観を作っていました。

又、グラントワークトラストのプロジェクトマネージャーに会い、荒地を整備して自然公園にしたり、ゴミの捨てられた沼地を釣り愛好家達の希望を入れて、たくさんの釣り人が訪れる美しい場所に作り変えたり、街の中の空地を所有者と交渉して作ったポケットパーク等を見学しました。特に興味深かったのは、やはり荒地を公園にした例ですが、グイアナ妃も訪れたという事で、プリンセスパークという名前の付いた公園もありました。

これらイギリス、トラストミッションに参加して感じて感じたことは日本では道路の草刈りから公園や街路の清掃等何から何まで行政がやってくれて当たり前だと思っておりますが、イギリスでは市民の手によってまちを考え、守っていくという意識が大変強く、環境問題への取り組みも産業革命当時から失敗の歴史もあり、国民一人一人が大変熱心に取り組んでおり、日本のまちなりづくりでも参考にすべき点がたくさんあると感じて帰った次第です。

この財団の最も大きな事業が助成事業

ですが、これについては前期が139件、後期が50件の申請がありました。この1年間の申請件数は昨年の上で、大きな伸びであります。

これは、財団の助成を必要とするまちづくり熱心に取り組む市民団体が、全国各地に本当に多くあり、益々この財団の役割が重要性を持つてくるということではないでしょうか。

又、助成金交付では前期が14件、後期が18件で合計32件に対し合計600万円の助成金が交付されました。その中には小さな事業で、本当に誰かが支えてやらなければならぬような事業もありまして、この助成によって更に充実したまちづくり運動が推進されるものと思っております。

日本青年会議所がこの財団を作った背景には青年会議所が明るい豊かな社会づくりを目的として、日々様々な運動を展開している訳ですが、青年会議所運動だけで100%その目的を達成することが出来ないことは、言うまでもありません。そこで、現在全国各地で青年会議所以外の様々な団体がまちづくり運動を進めており、それらを積極的に支援し、色々な市民団体によって行われているまちづくり運動によっても、明るい豊かな社会実現を目指して行こうという意図があるものと思われまます。

この財団の全国各地のまちづくり運動に対する支援は、明るい豊かな社会づくりに今後更に大きな貢献をするものと思えます。多くのみなさんで、まだまだ小さいけれどもキラリと光るこの財団法人まちづくり市民財団を大きく育てていただきたいと願っております。

財団法人まちづくり市民財団への ご入会・ご寄付のお願い

財団は、地域社会への貢献を目的として、財団日本青年会議所が「まちづくり市民財団特別会計」から基本財源一億円を移転し、一九九一年十月三日に設立されました。当財団は、まちづくりに関する研究・提案や、まちづくりのための市民運動への助成を行うこと等により、地域の振興・活性化に寄与することを目的としております。

現在、財団まちづくり市民財団では、みなさまのご入会・ご寄付をお願いしております。当財団へのご入会・ご寄付は、地域社会への貢献とともに、企業のイメージアップにつながるものと確信いたしております。

今後、基本財源の拡大と運用財源確保に全力をあげて財団を大きく育てていくよう努力いたしますので、趣旨をご理解のうえ、何卒当財団へのご入会・ご寄付をお願い申し上げます。

- 入会金
 - 特別会員(法人) 一口 50万円
 - 賛助会員(個人) 一口 5万円
- ※特別会員につきましては、入会金の分割納入も可能です。事務局までお問い合わせ下さい。
- ご寄付
 - 当財団では、皆様のご寄付も受け付けております。
- お申込み
 - 財団事務局までお問い合わせ下さい。

入会金・ご寄付のお振り込み先は、左記の通りです。

住友銀行
麹町支店 普通預金960483
財団法人まちづくり市民財団

● お問い合わせ先
財団法人 まちづくり市民財団
〒102 東京都千代田区平河町
2-14-3
日本青年会議所会館内
〒031323412607
FAX 031323415770

※助成金の申請および入会等、当財団に関することは、事務局までお問い合わせください。

6年度入会状況(1月30日現在)

賛助会員	寄付金	特別会員
井口一世 1口	御長門J.C 50,000円	御大阪J.C 2口
鎌倉博幸 1口	中川卓 10,000円	御下館J.C 1口
田所嘉徳 2口	'94まちづくりデザイン会議委員会 0円	御姫路J.C 1口
山崎勝久 1口	煙山弘 5,000円	武藤建設 1口
西山梅夫 1口	'94まち市民財団特別委員会 140,000円	合計 21口
森生信雄 1口	御佐久J.C 77,581円	
竹内正幸 1口	合計 735,581円	
中島清逸 1口	補助金 300,000円	
金子種明 1口	御日本広報センター 300,000円	
岡田兼明 1口	トヨタ自動車株式会社 3,000円	
藤野 滋 1口	合計 7,465,581円	
星野理一 1口		
寺田 豊 1口		
山崎達也 1口		
常井美治 1口		
内藤久夫 1口		
永盛工業 1口		